

令和 7年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
(Ⅰ 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業)
事業内容報告書の概要

地方公共団体名【大山崎町】							
令和 7年度に実施した取組の内容及び成果と課題							
1. 事業の実施体制(運営協議会・連絡協議会の構成員等) 大山崎町教育支援委員会(在学部会) ・各校特別支援学級担任、管内支援学校総括主事、町教育委員会担当者 校長会議 ・各校校長、町教育委員会担当者 学校体制 ・特別支援学級に児童が在籍し、学級担任プラス支援員1名が専属で指導。							
2. 具体の取組内容 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること ・(1.4)大山崎町教育支援委員会の在学部会を実施し、定期的に行われる学校長会議等でも情報共有。 ・(2)主に国語と算数の授業は支援員が専属で指導し、体育や生活、音楽等の授業では通常学級で他児童と交流しながら授業に参加。 ・(3)様々な授業で教科書だけでなく、日本語の理解をしやすい本を図書室から選び、活用。 ・(3)授業の取り組みの一環で、テーマに沿った日本語によるスピーチを実施。 ・(10)支援員は通常学級との交流授業の際、対象児童のフォローに入り、クラスに馴染みやすいよう努めた。							
3. 成果と課題 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること ・(2.310)昨年度から日本語の上達が目に見えるようになり、他児童ともコミュニケーションを積極的にとれるようになった。また、授業における日本語スピーチのレベルもかなり上がった。 ・(1.2)長期欠席まではフォローの甲斐もあって精神面での負荷が軽減された。日本語の理解力も昨年度から目に見えて上がっていた。 ・(4)新入学、転入の情報はないが、適切な対応ができるように進めている。							
本事業で対応した幼児・児童生徒数	幼稚園等	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	中等教育学校	特別支援学校
	(人園)	(1 人 1校)	(人校)	(人校)	(人校)	(人校)	(人校)
うち、特別の教育課程で指導を受けた児童生徒数	/	(1 人 1校)	(人校)	(人校)	(人校)	(人校)	(人校)
4. その他(今後の取組予定等) ・現在、家庭の事情により長期欠席しているが、復学後の指導方針についてはコミュニケーションの面だけでなく、精神面等のあらゆる面でフォローを入れていく。							

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない) 成果物等があれば別途提出すること。

※ 事業内容報告書の概要は、様式9(添付1)の5. 成果イメージ資料のポンチ絵と併せて、文部科学省ホームページで公開する。